

MCT TTT レッスン設計書

名 称	MCT TTT
時間 × 日数	7 時間 × 3 日間 10 : 00 ~ 18 : 00
受講対象者	MCT 取得希望者
受講者の 想定スキル	MCAS 担当するアプリケーション合格済み
形 態	6 名までの集合研修 最少催行人数 3 名
使用テキスト	日経 BP 社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
機 材	・受講者は 1 人 1 台の PC を使い、講師用 PC の画面をプロジェクターに投影する ・ホワイトボードないしフリップボードを用意 ・撮影用ビデオ
環 境	・ 2007 Office system
ス タ ッ フ	メイン講師 1 名
研修の目的	MCT に必要なトレーナーとしてのスキルを身に付け、研修の現場で実装できる *該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準 (80%以上) に準拠
研修の目標	・ MCT に必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる ・ MCT に必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる *該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準 (80%以上) に準拠
最終評価	3 日間を通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と 20 分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする
1 日目の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と目標を理解し、MCT (トレーナー) としての役割を理解できる ・プレゼンテーションスキルを理解し、演習で実装することができる ・デモンストレーションスキルを理解し、ビデオ撮影 (5 分) の準備まで行うことができる 	
オリエンテーション 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・講師自己紹介、会場説明、全体および 1 日目のタイムスケジュールなど ・研修の目的と目標の確認
講義と演習 10:15-13:00	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・序章および第 1~2 章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識付ける
※ 途中適宜休憩	<p>序章：テキストの使い方、用語など</p> <p>第 1 章：トレーナーの役割 (受講者自己紹介を含む)</p> <p>第 2 章：プレゼンテーション~正しく伝え、理解・納得を得る</p>
昼食 13:00-14:00 (60 分)	
講義と演習 14:00-18:00	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第 2~3 章のポイントについて発問を交えながら説明し、2 日目の実演への準備を行う
※ 途中適宜休憩	<p>第 2 章：プレゼンテーション~正しく伝え、理解・納得を得る</p> <p>第 3 章：<実践演習>SFB による説明と実演 (準備まで)</p> <p>*明日までの準備の説明を含む</p>

2日目の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・1日目に学習したスキルを、ビデオ撮影（5分）で実装することができる ・インストラクションおよびファシリテーション スキルを理解し、演習で実装することができる ・コース設計から詳細プランまでの研修設計について理解し、詳細プランを作成できる 	
オリエンテーション 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と目標の再確認 ・2日目のタイムスケジュール
講義と演習 10:15-13:00 ※ 途中適宜休憩	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第4～5章のポイントについて発問を交えながら説明し、演習への実装を意識付ける <p>第4章：インストラクション～興味を引き、”できる”をサポートする 第5章：ファシリテーション～励ましとグループシナジーの活用</p>
昼食 13:00-14:00 (60分)	
講義と演習 14:00-18:00 ※ 途中適宜休憩	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第6～7章のポイントについて発問を交えながら説明し、3日目のビデオ収録への準備を行う <p>第6章：コースの設計 第7章：＜実践演習＞安心感の提供と”We can”サポート *明日までの準備の説明を含む</p>
3日目の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・2日間の学習内容をもとに、20分間の模擬授業を行うことができる ・模擬授業のレビューを自己・他受講者・講師で行い、良かった点と改善点を把握できる ・実務への実装の必要性を理解できる 	
オリエンテーション 10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の目的と目標の再確認 ・3日目のタイムスケジュール
講義と演習 10:15-11:00	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識し、関連付けを図りながら説明する ・第8章のポイントについて発問を交えながら説明し、実務への実装を意識付ける <p>第8章：プロフェッショナル・トレーナーへの道 ・コース準備から開催までの流れ（総括） ・コンプライアンス（時間がなければ概要のみ）</p>
ビデオ収録 11:00-13:00 ※ 途中適宜休憩	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする ・実務への実装を意識付ける <p>第7章：＜実践演習＞ ・ビデオ収録とレビュー</p>
昼食 13:00-14:00 (60分)	
ビデオ収録 14:00-18:00 ※ 途中適宜休憩	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキル評価基準のポイントを意識してレビューする ・実務への実装を意識付ける <p>第7章：＜実践演習＞ ・ビデオ収録とレビュー ○研修全体のまとめ</p>

※ 受講者人数およびスキルによって、時間配分は変更となる場合があります